



Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

Press-release

① 3月19日:

IEC, ISO, ITUは共通のpatentポリシーを持つことに合意
これにより新技術を利用した国際標準の普及が進展
IEC, ISO and ITU, the worlds's leading developers of
international standards agree on common patent policy
Use of International Standards to disseminate innovation
encouraged by new agreement

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/05.html)

国際電気標準会議 (IEC)、国際標準化機構 (ISO)、国際電気通信連合 (ITU) の国際標準作成機関は、国際標準の中に使われる、特許で保護された技術の取扱いについて、統一化していくことで合意した。今日の市場経済社会、特に情報通信技術 (ICT) 分野においては、多額の研究開発投資がなされており、きちんとしたpatentポリシーの存在によって、投資に対する保護がなされるとともに知的財産資源に関する情報公開が進められている。合意されたポリシーでは、標準化作業が完了する前に標準化技術の実施に必要な特許技術の存在を公表するよう求めている。また、合理的な対価、非差別的な提供を条件として、各企業が保有する特許技術を国際標準として使用することを認めている。

② 4月13日:

宇宙飛行を記念する航空宇宙の日
ガガーリン大佐の有人宇宙飛行46周年とスプートニクから50年
Cosmonautics Day marks pioneering spaceflights
46th anniversary of Yuri Gagarin's manned spaceflight
and 50 years since Sputnik

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2007/06.html)

4月12日、ガガーリン大佐がボストーク1号で有人宇宙飛行に成功してから46周年になるのを記念し航空宇宙の日 (Cosmonautics Day) としてのお祝いがあった。今年はまだ、人類初の人口衛星スプートニクが地球軌道に打ち上げられてから50周年の年でもある。ジュネーブのITU本部とロシア・セントペテルスブルグにあるポポフ通信博物館 (the A.S. Popov Museum of Communication) をテレビ会議で結び、ロシアの情報通信大臣Mr Leonid ReimanとITU事務総局長のDr Hamadoun Touréは、スプートニクやボストークによって始まった宇宙開発に対する意見交換を行った。また、ロシア政府は、現在、民生用に14機打ち上げている衛星を拡充するため、通信・放送ネットワーク用に新たに15機の衛星を2015年までに打ち上げると発表した。